

## 「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	東京大学	整理番号	T01
プログラム名称	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム		
プログラム責任者	光石 衛	プログラム コーディネーター	大方 潤一郎

### ◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

#### [総括評価]

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

#### [コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、高齢社会総合研究機構を軸に、9研究科29専攻を束ねた分野横断的な体制の下で、活力ある超高齢社会を共創するという重要課題をリードする専門的人材を目指すプログラムが構築されており、多様かつ体系的な内容を持った優れた学位プログラムであると評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、産官民学共同研究が多面的に行われており、グループ共同研究等の演習を通じ、具体的な現場におけるリーダーシップを体得する実習を多く用意していることは評価できる。今後はここから真にグローバルなレベルでのリーダー像を追求するための方法に高めていくことが期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、ミシガン大学、オックスフォード大学など高齢化社会研究を主導する大学との3極拠点ネットワークを形成するほか、海外の有力大学数校との連携を行っており、短期留学制度も整備されている。また、多様な学生の指導に関して堅実な複数メンター制度を活用しており、学生の本属する研究科との連絡を含め、体系的な指導体制を備えていることは高く評価できる。

優秀な学生の獲得については、効果的な広報活動もあって、多様な背景を持った優秀な学生を一定数獲得できているため、今後も維持されることが期待される。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、コアセミナーや現場演習など理論と実践面で分野横断型の教育を行いつつ、博士課程修了に至るまでに海外インターンシップ、短期留学制度を通じグローバルな課題と世界水準の研究に接近しうる教育の質を目指していることから評価できる。また、専門的研究能力の認定は本属する研究科の学位審査に委ねるとしつつも、これに加えて公開の学位審査会では学外実務家を審査員に入れ、英語によるものも含む最終試験を課すなど、高い学位の質保証システムを備えていることは評価できる。

事業の定着・発展については、プログラムの軸である高齢社会総合研究機構の存続に加えて、東京大学の国際卓越大学院構想の中での定着が目指されていることは評価できる。今後、この構想における本プログラムの位置付けがより明確になることが期待される。